

つながる 断熱ライン

暑い夏や厳しい寒さの冬がある日本。一年を通して少ないエネルギーで快適に過ごすことのできる家には、過酷な外の温度を室内に伝えず、快適に保たれた室内の温度を逃がさないための

断熱性能

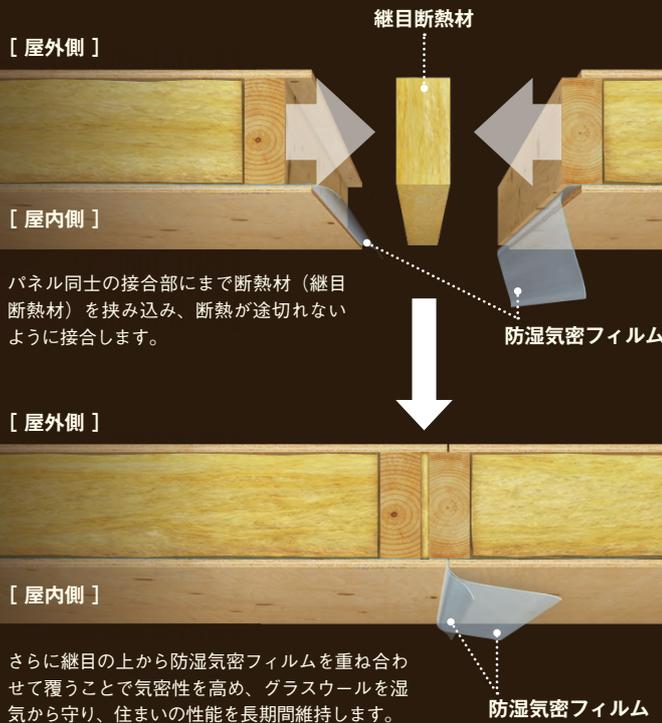
が、不可欠になります。そして何年経っても新築時と同じ性能が発揮され続けることがとても大切です。

グラスウール

はガラスを織

維状にしたものです。そもそも原料がガラスなので劣化しにくい特長があります。さらに十分な密度や厚みを備えたものは、他の断熱材にはない弾力と復元性という特長があるため、長期にわたって効果を維持し続けることができます。

スウェーデンハウスでは、床・壁・天井など、それぞれの場所で断熱性能を発揮させるために、グラスウールの最適な密度と厚みを使い分け、



[屋外側]

継目断熱材

[屋内側]

パネル同士の接合部にまで断熱材（継目断熱材）を挟み込み、断熱が途切れないように接合します。

防湿気密フィルム

[屋外側]

[屋内側]

さらに継目の上から防湿気密フィルムを重ね合わせて覆うことで気密性を高め、グラスウールを湿気から守り、住まいの性能を長期間維持します。

防湿気密フィルム

万全の状態の家全体を包み込むように断熱しています。そこで重要なのが断熱ラインを途切れさせないことです。断熱ラインは途切れてしまうと、その場所から熱が入りしてしまい、結露が発生する要因になります。壁の中で結露が起ざると断熱性能が充分に発揮されないだけでなく、家の寿命を低下させる原因にもなってしまいます。

断熱ライン

を途切れさせないため

スウェーデンハウスでは、例えわずかでもに、壁パネル同士の接合部のような、極めて小さな継目部分にもグラスウールを充填しています。全ての継目にきっちり施工することは、技術や知識、多くの時間を要します。しかし築年数を重ねても新築時と変わらない住み心地と、

耐久性

を叶えるために、スウェーデンハウスがたどり着いた答えの一つがそつした細部に及ぶ断熱を行い、途切れない断熱ラインを実現することでした。

いつまでも安全かつ安心な家で健康に暮らして欲しい。継目には、そんなスウェーデンハウスの想いが詰められています。